

春宵弓張月

前編

六

不十百丁

^ 13
3692
6



門へ13
號3692
卷6

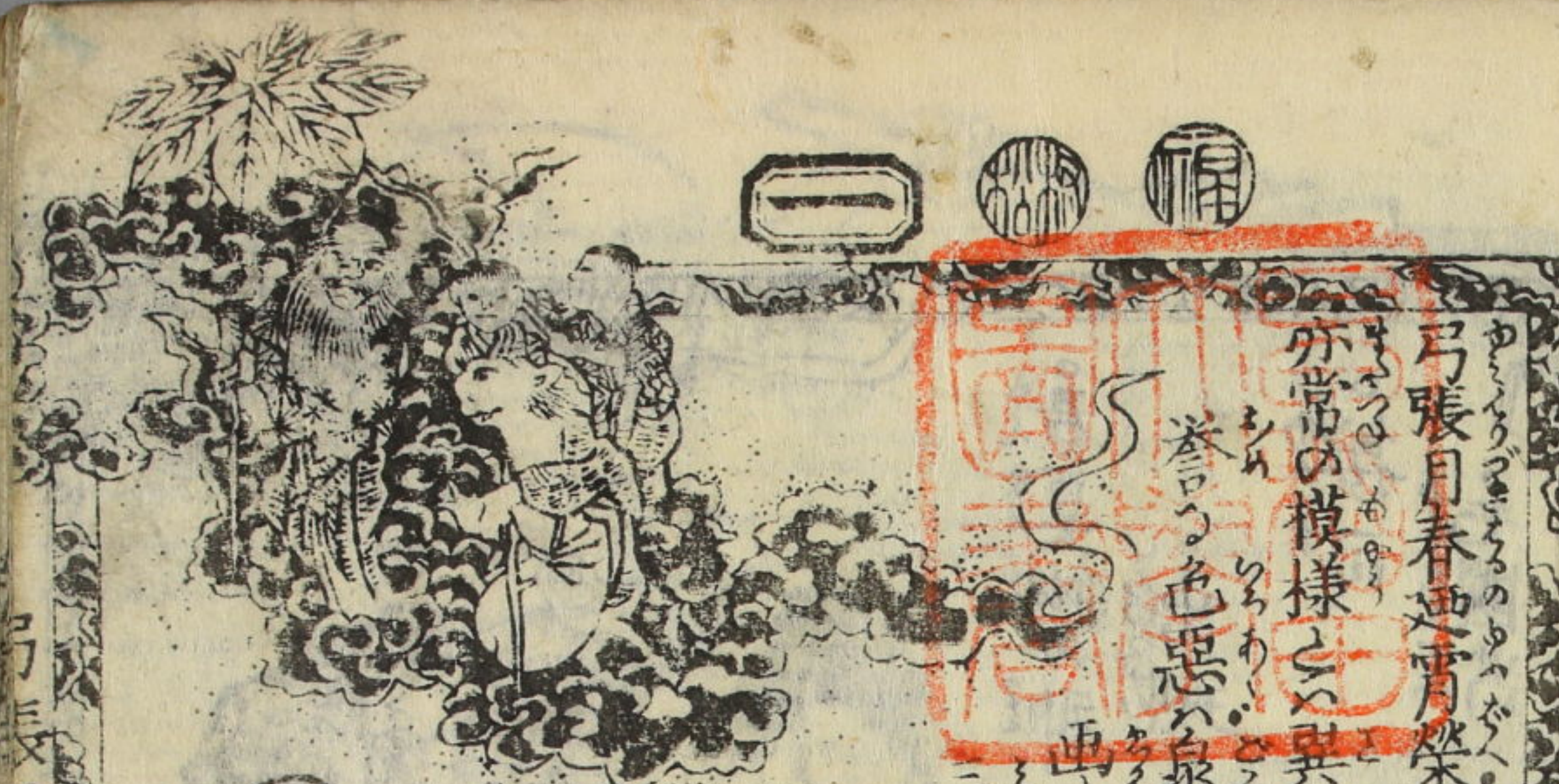
曲亭翁原稿

西馬老人綴

満月

東京書房

文昇堂熊谷梓



弓張月春通宵榮既小編と次ぐ第十輯に至る此巻より琉球國の談ありて異体も亦常の模様との異ありされば戯場めきたる間識合のあらうものありて誰家号と

答言の色悪く奉月懺の蕪入といへり根生株と称せん荒夷の祇園會尊と

再大燈ふうのまうそ中み大立の廢訪使竹田の紋の庫衣ありて二十年

十年前文更の初め崎陽より來て西國を興行せるかこのう

通名なる唐衣の踊り能繁昌々と市中皆諷ふ童形の友と

集め十余人群ふる踊歩く其鳴物を造て是を打雜子或は張子の蛇を佐へ別種器具と製賣者すて利分を得如斯大當

を思ハレヤム鍋金趁羅齋の流行ふ連て御真るらん批

吐未増の慢吹せりら深蒸料理のおまのらん飽給り

嘉永六癸丑年三月發兌 樂亭西馬誌

弓張月十一

山南省
北谷託女の長
女君阿公

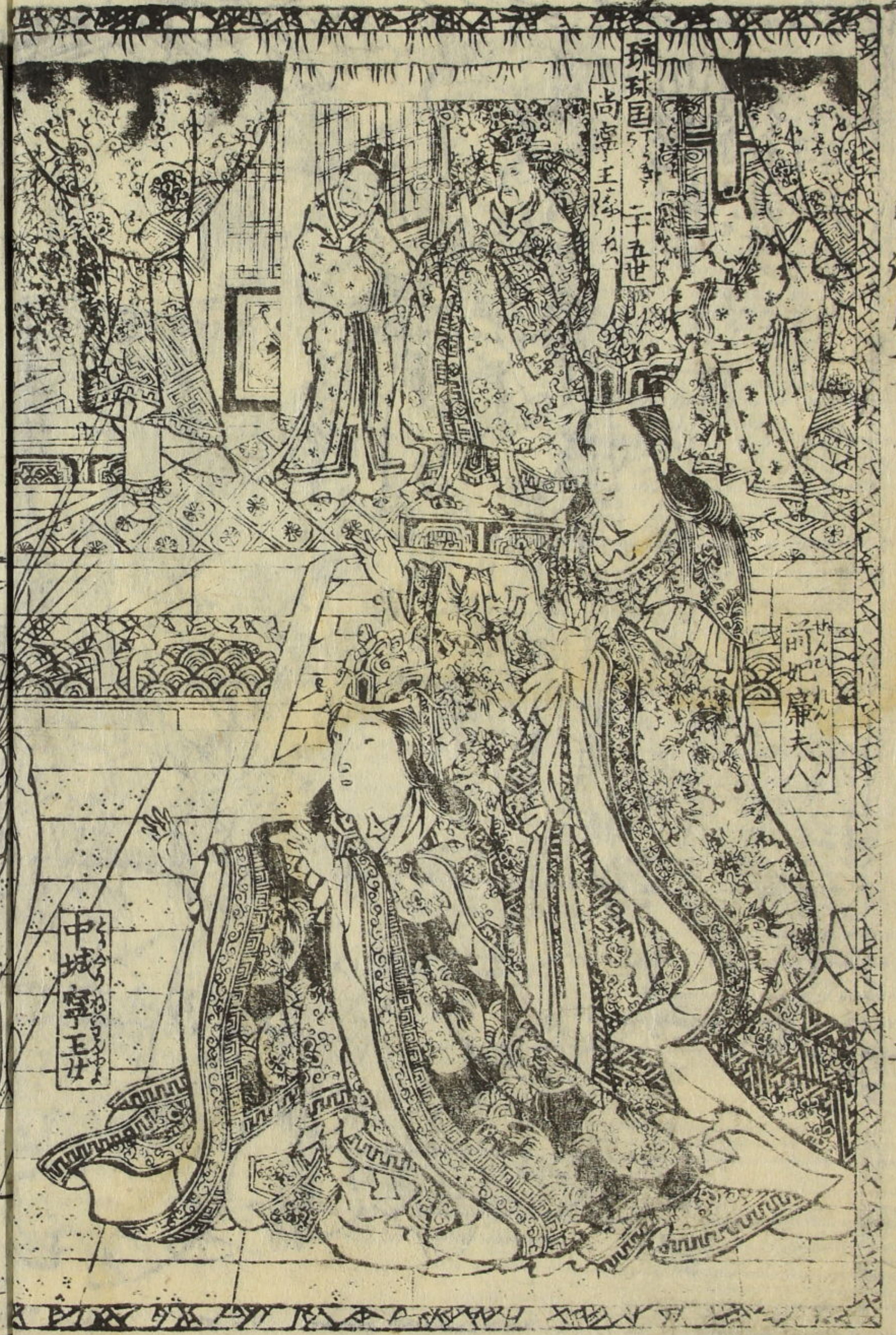


真鶴
孤女

君真物の神
出現
。按司
毛國丹



紫巾官
利勇



上ノ方ニ
シテ中ノ方ニ
ノ方ニ

中ノ方ニ
ノ方ニ

ノ方ニ
ノ方ニ



ノ方ニ
ノ方ニ

ノ方ニ
ノ方ニ

ノ方ニ
ノ方ニ

ノ方ニ
ノ方ニ

ノ方ニ
ノ方ニ



右右大物の
神現

長月十一

2

山之神
...
(Vertical Japanese text describing the deity and his attributes)

山之神



山之神
...
(Additional vertical Japanese text on the left page)

神童五郎
...
(Vertical Japanese text at the top right of the right page)

神童五郎



海神

海神
...
(Vertical Japanese text at the bottom right of the right page)

尚華王

尚華王の御事... 尚華王は、元寇の際に、

尚華王の御事... 尚華王は、元寇の際に、



中婦君

中婦君の御事... 中婦君は、元寇の際に、

中婦君の御事... 中婦君は、元寇の際に、



利勇
中編君



使官



利勇

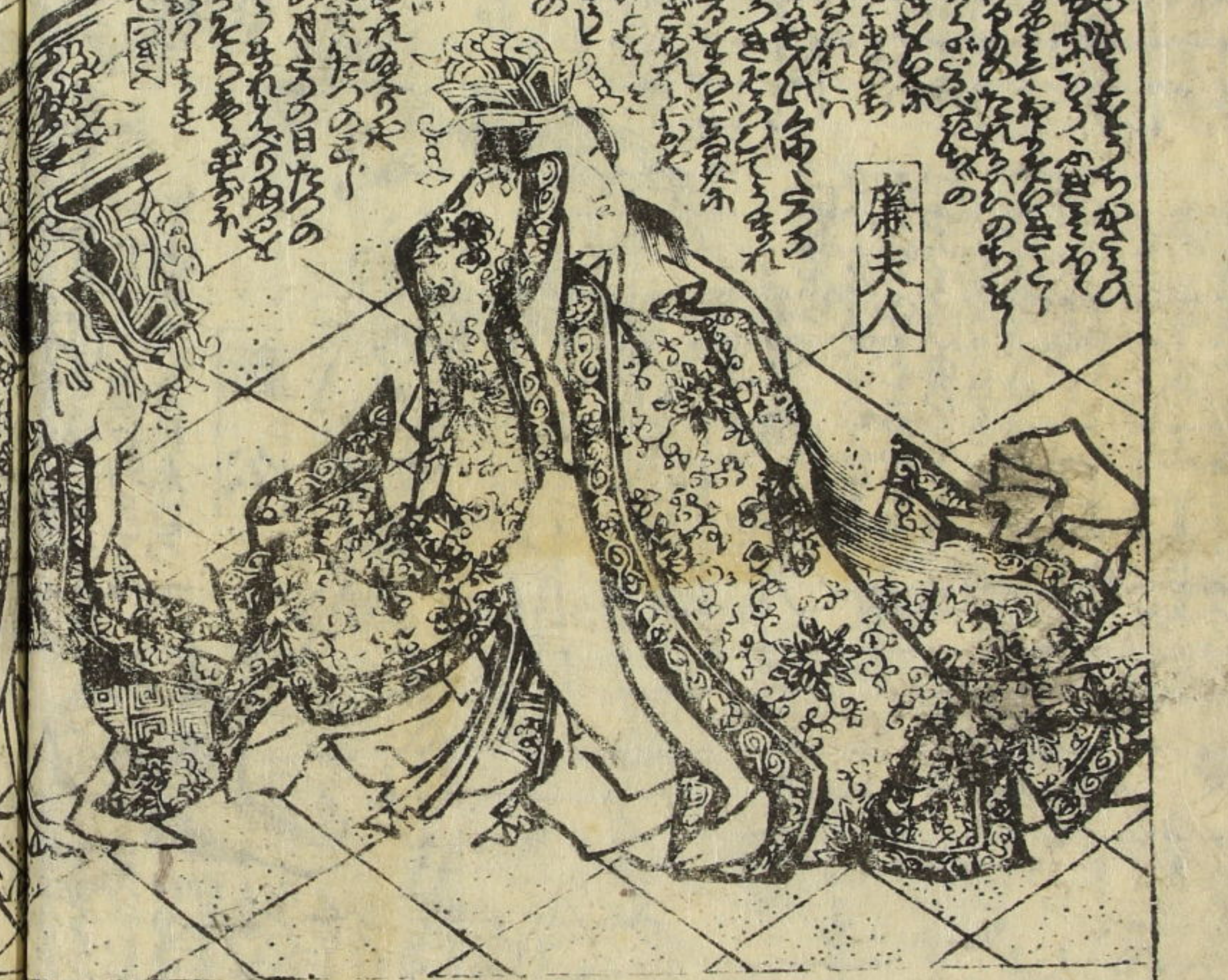
阿公



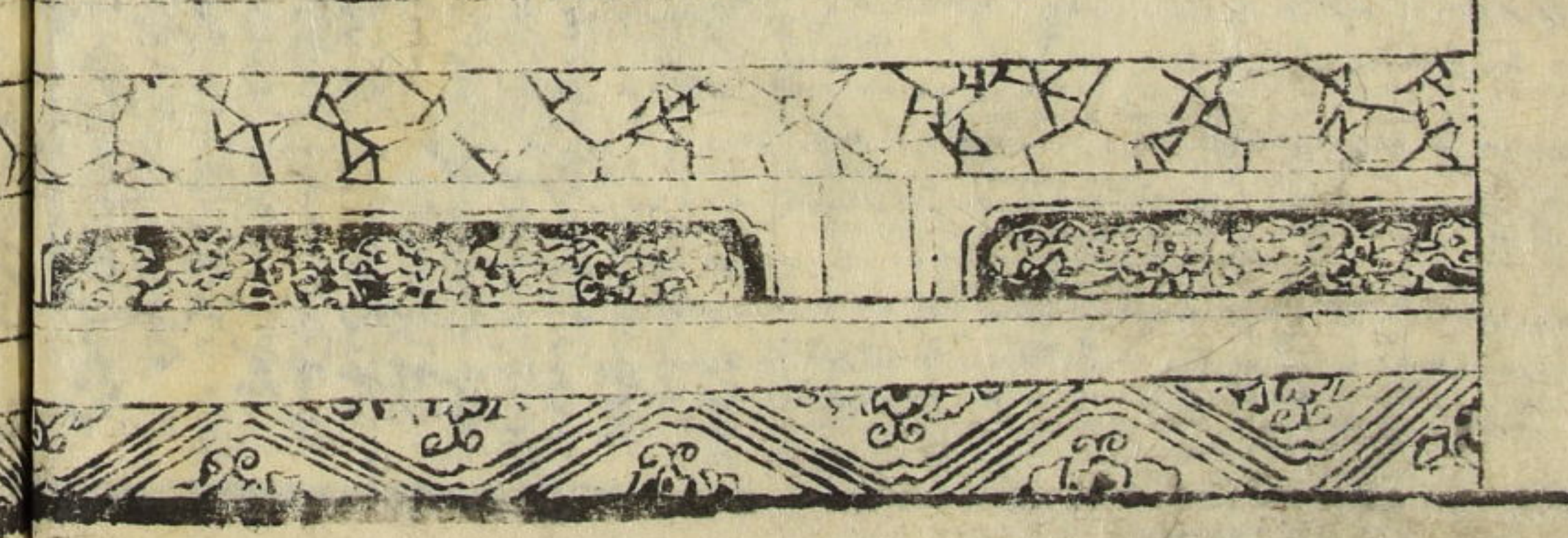
利勇

阿公

此の御書は... 御書は...

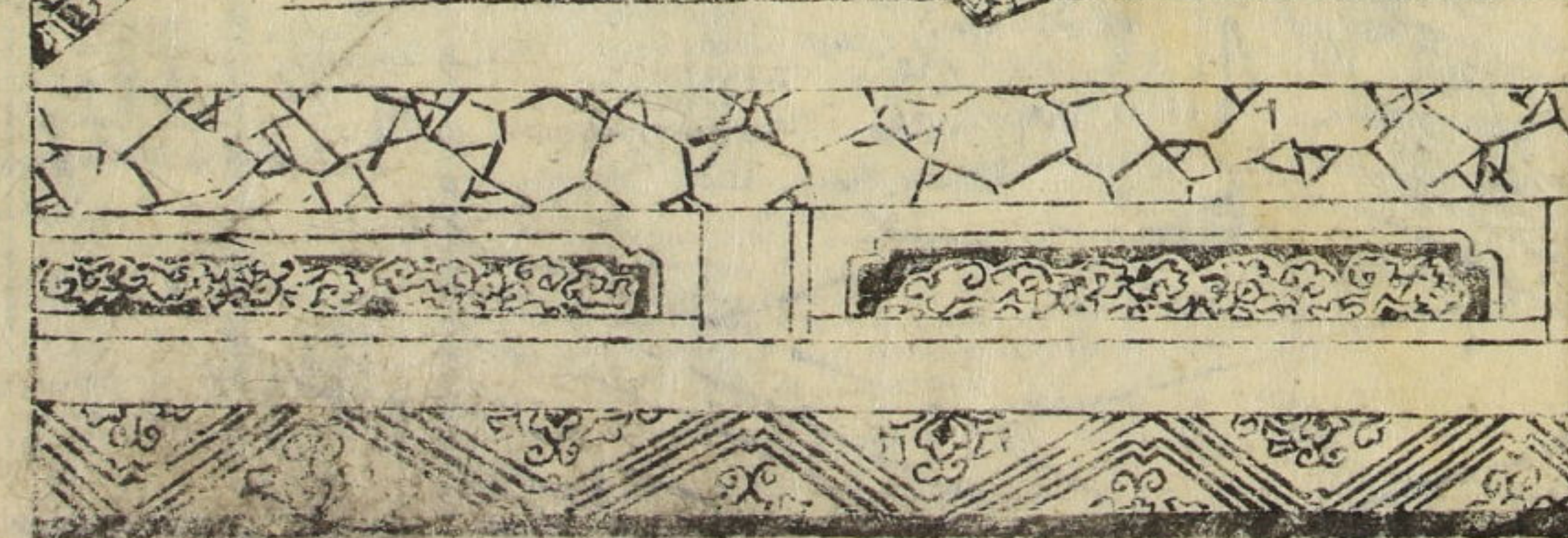


廉夫人



毛國丹

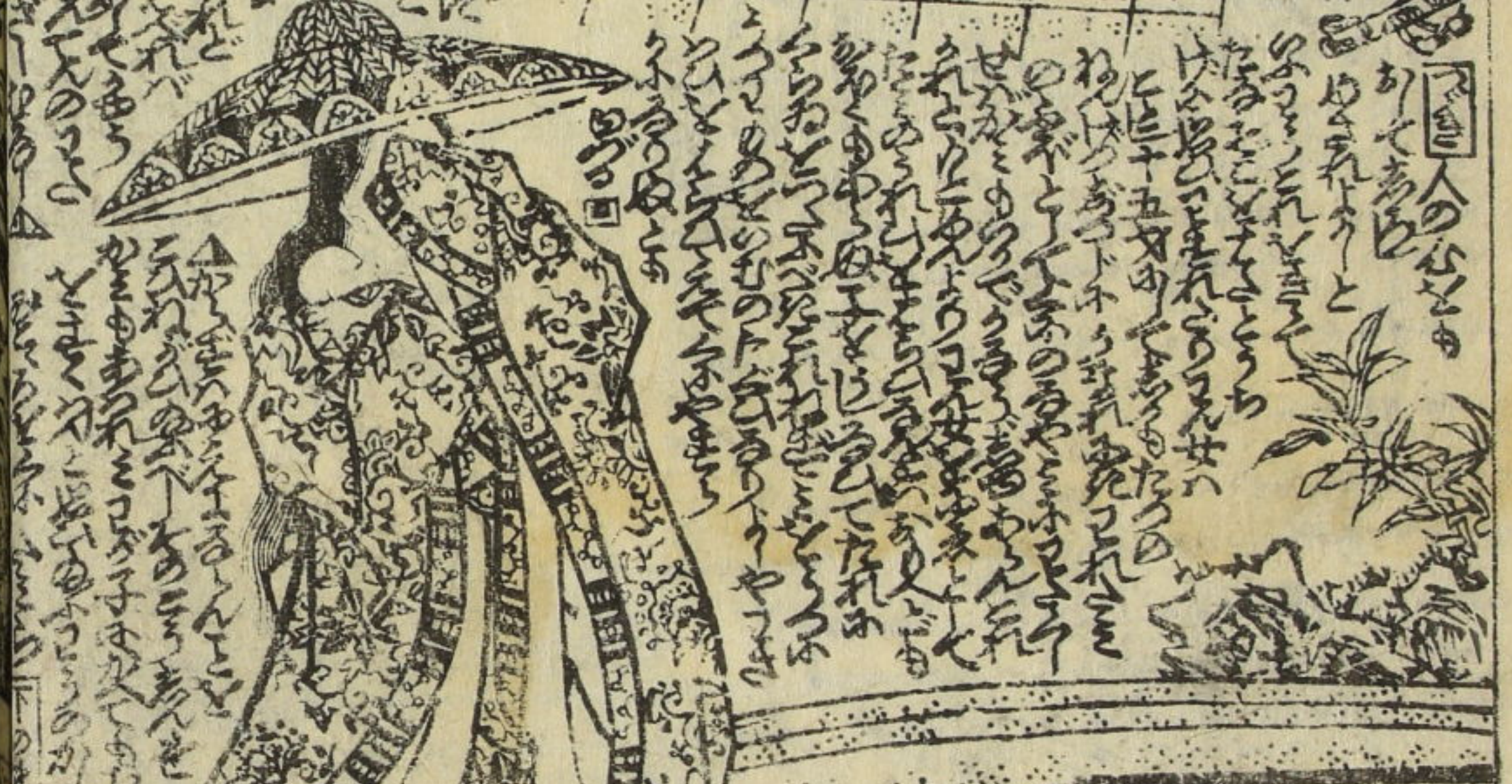
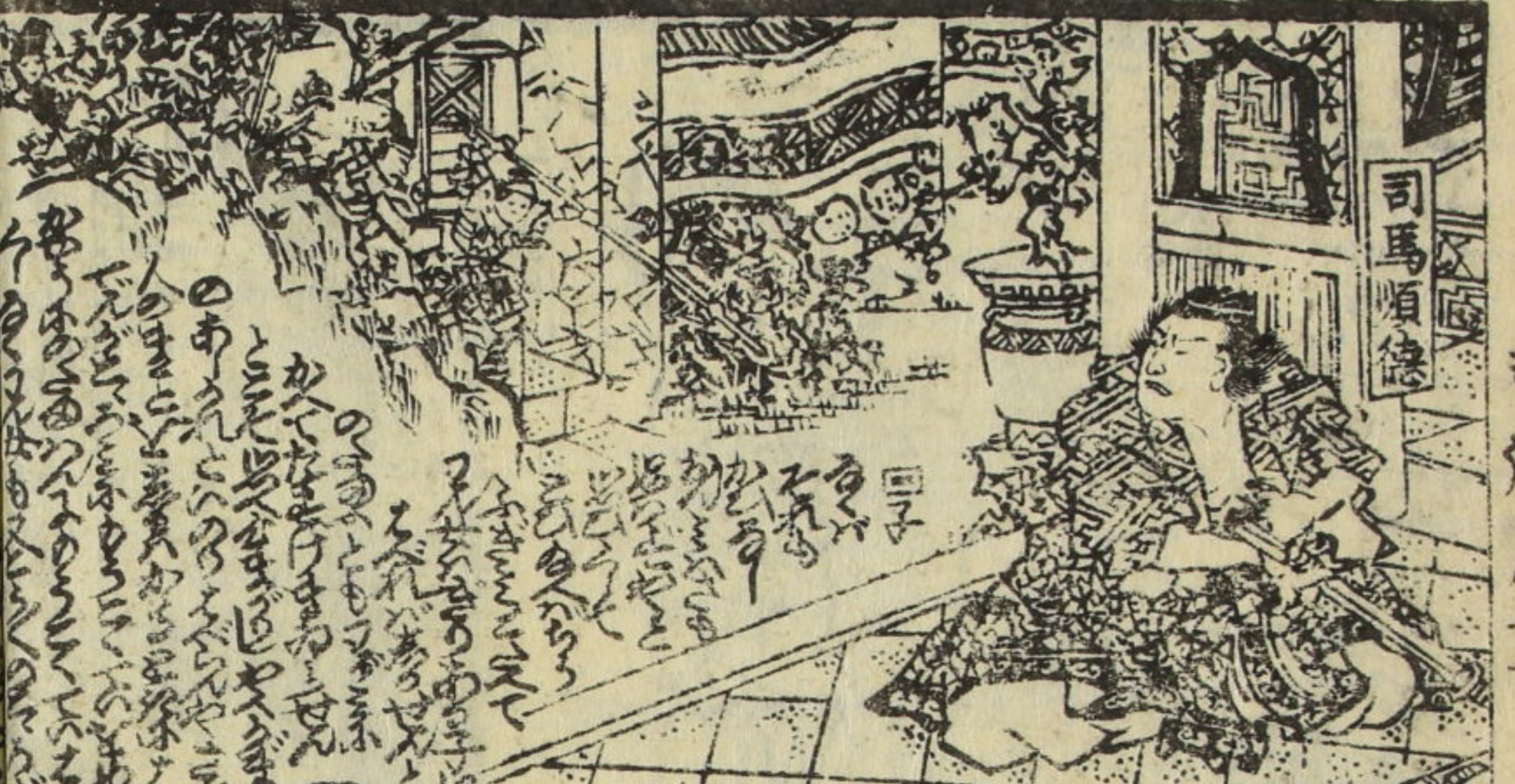
寧王女



Vertical columns of handwritten Japanese text at the top left of the page.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom left of the page.



Vertical columns of handwritten Japanese text between the two illustrations on the right page.

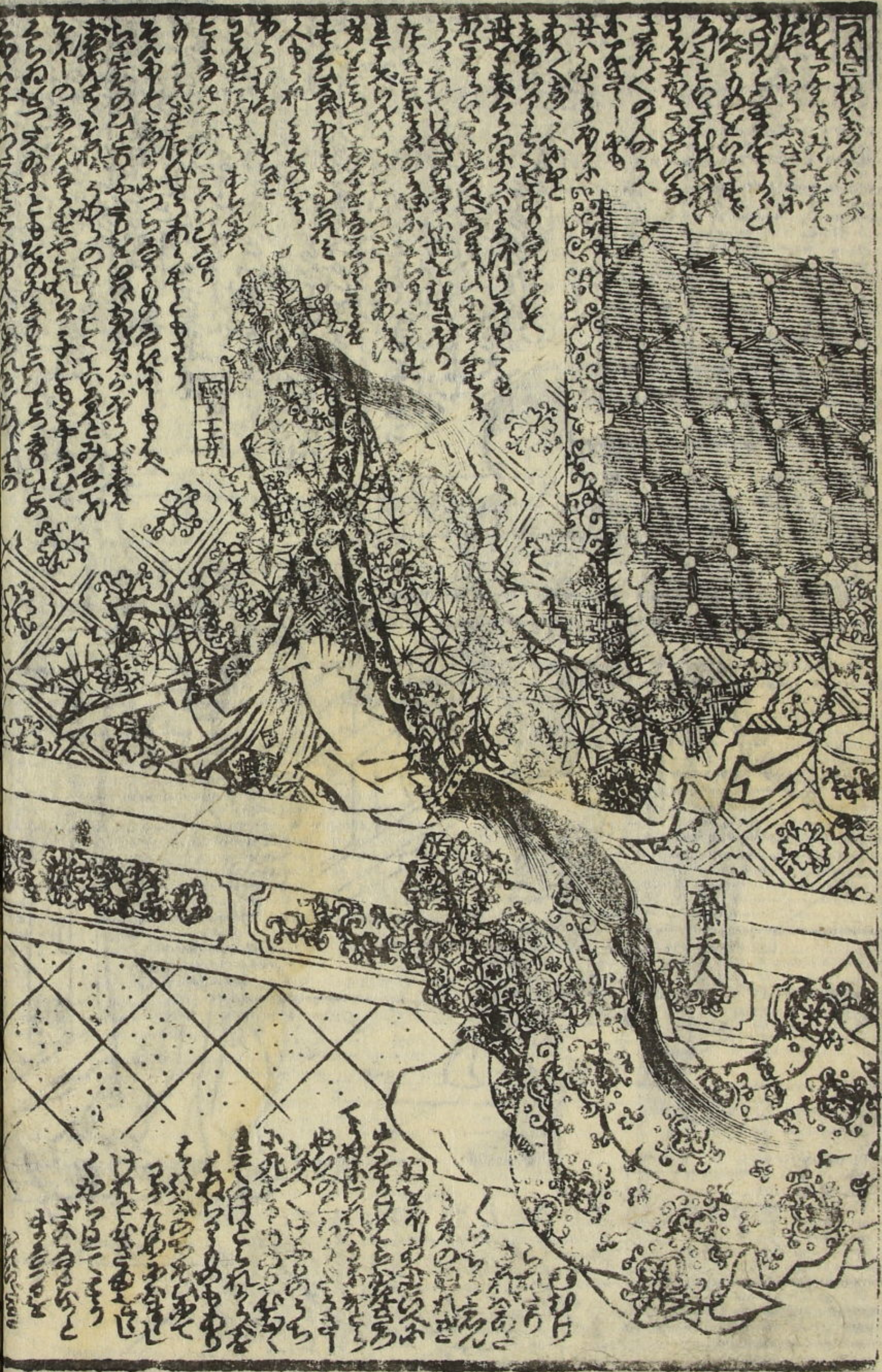
西馬譯
國輝禹

Small vertical text label within the illustration area on the right page.



わさびのさきさき
ねのあはれを
そのみでらう
こころを
まてらう

わさびのさきさき
ねのあはれを
そのみでらう
こころを
まてらう



わさびのさきさき
ねのあはれを
そのみでらう
こころを
まてらう

わさびのさきさき
ねのあはれを
そのみでらう
こころを
まてらう



利勇



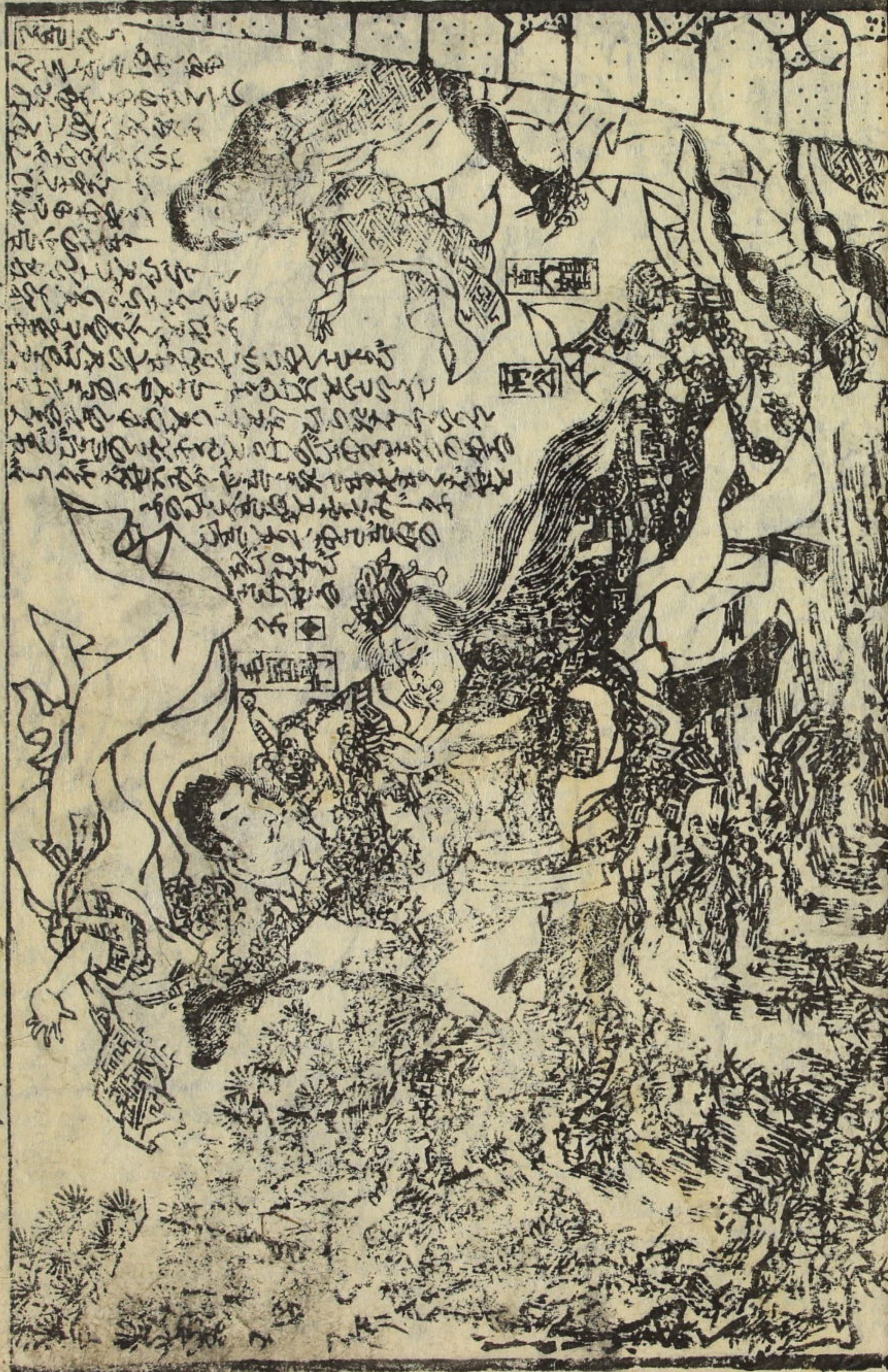
毛国典

阿公
阿公の御事
阿公の御事
阿公の御事



毛國典
毛國典の御事
毛國典の御事





三張月十

三張月十

Vertical Japanese text columns on the left page, likely serving as a preface or commentary to the illustration.



貞徳 (Eitoku) label for the illustration.

Additional vertical Japanese text at the bottom of the left page, possibly a dialogue or a specific scene's description.

Small decorative mark or logo at the top center of the page.



高専王 (Takusen King) label for the illustration.

利貞 (Tokuhiro) label for the illustration.

Vertical Japanese text columns on the right page, continuing the commentary or providing dialogue for the illustration.

Large block of vertical Japanese text at the bottom of the right page, possibly a concluding text or a detailed scene description.



真鶴

藤夫人

毛國門

寧王女

五月十日

...

...

...

...



山ノ下

山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ
山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ
山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ

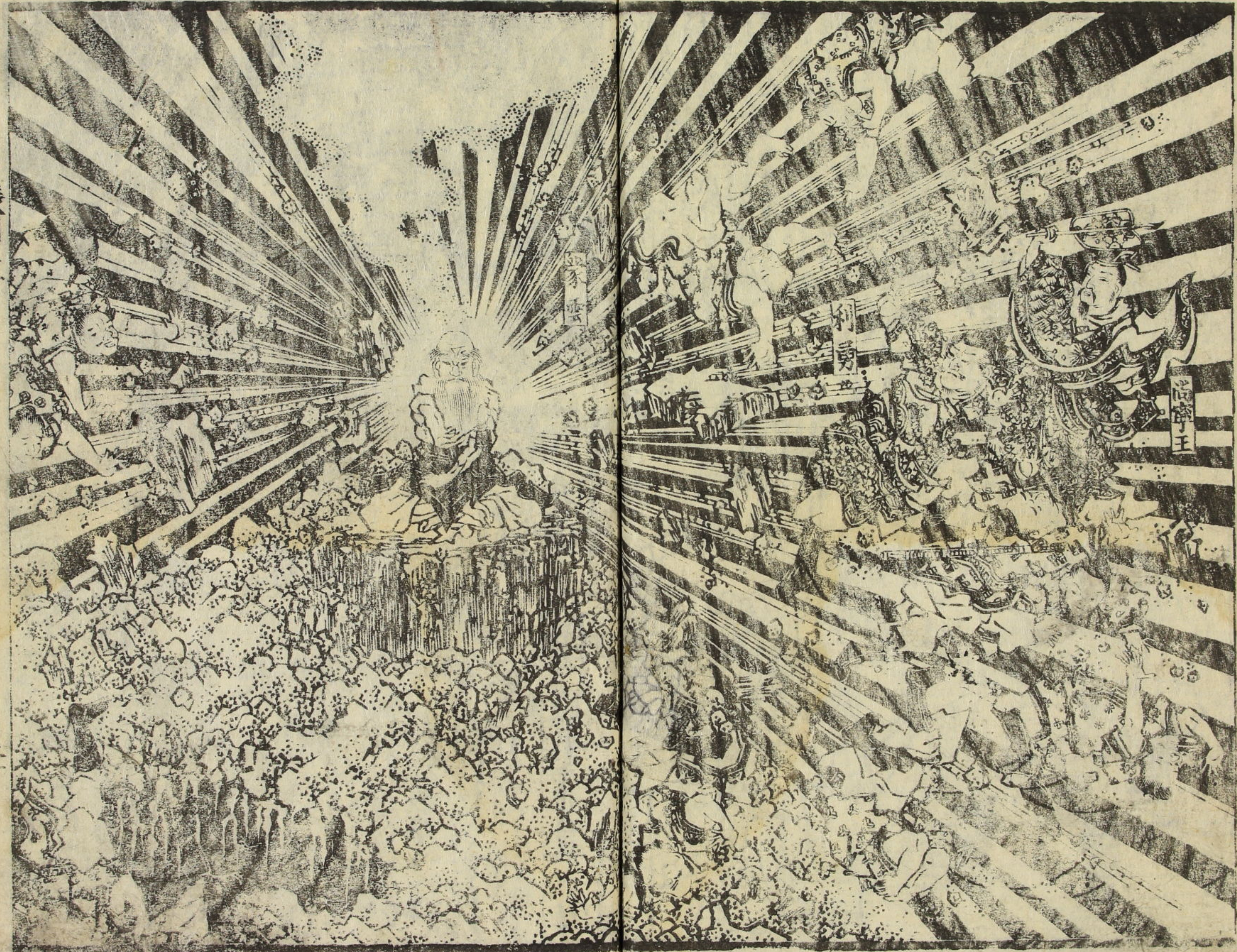


山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ
山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ
山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ

尚學王

利勇

山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ
山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ
山ノ下ノ人々ノ言ハシキ事トシテ



乃長門上

乃長門上



樂亭西馬文譯

一雄齋國權画

毛国典
此の畫は、西馬文譯の筆によるものと云ふ。其の趣向、人物の描寫、草木の皴法、悉く宋元の畫に倣ふ。尤も人物の神態、氣韻、一筆一劃、無不有餘蘊。誠、國權の筆力、西馬の筆墨、相輔相成、其の妙不可言也。此の畫、一雄齋の筆によるものと云ふ。其の趣向、人物の描寫、草木の皴法、悉く宋元の畫に倣ふ。尤も人物の神態、氣韻、一筆一劃、無不有餘蘊。誠、國權の筆力、西馬の筆墨、相輔相成、其の妙不可言也。

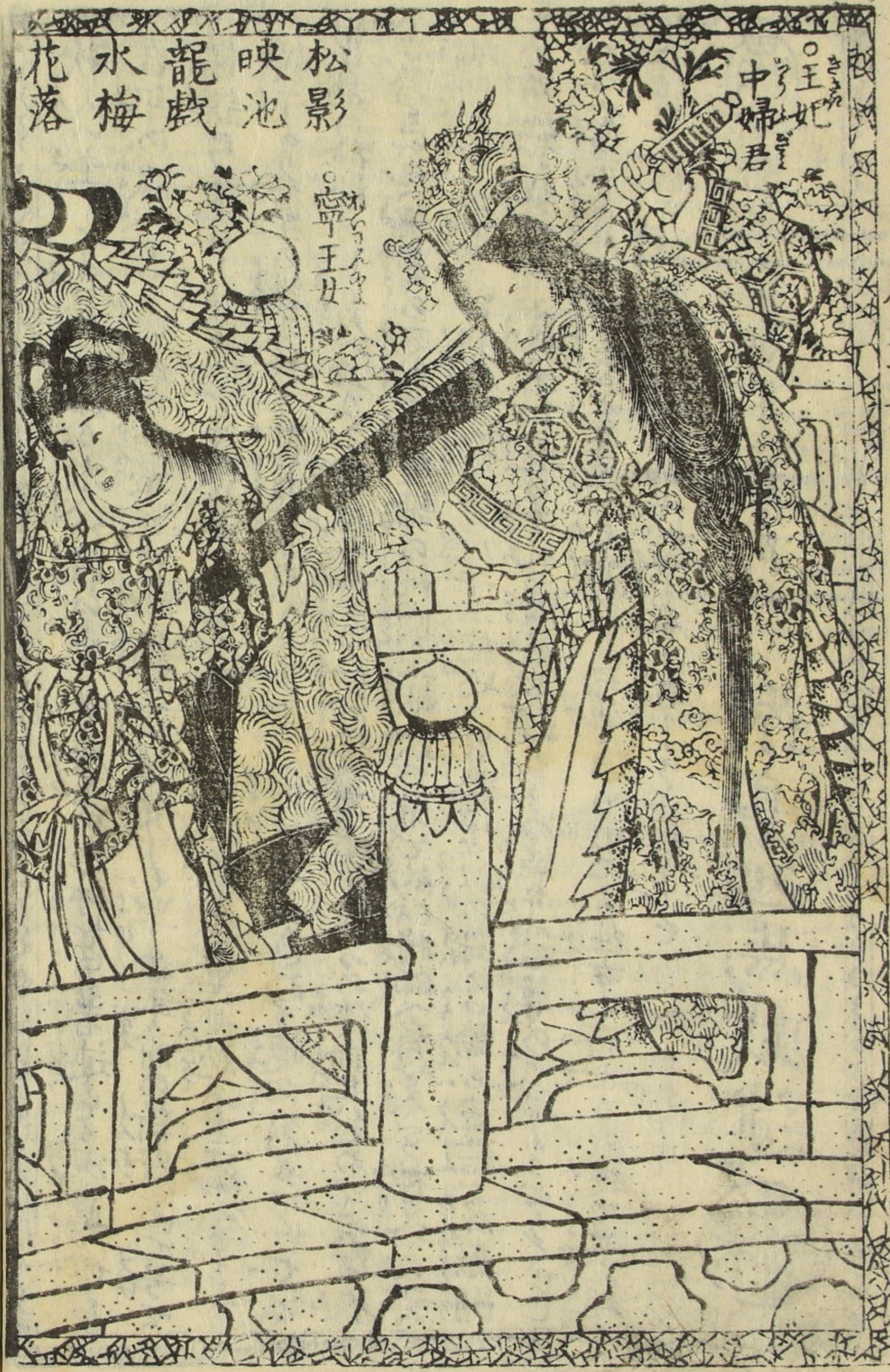
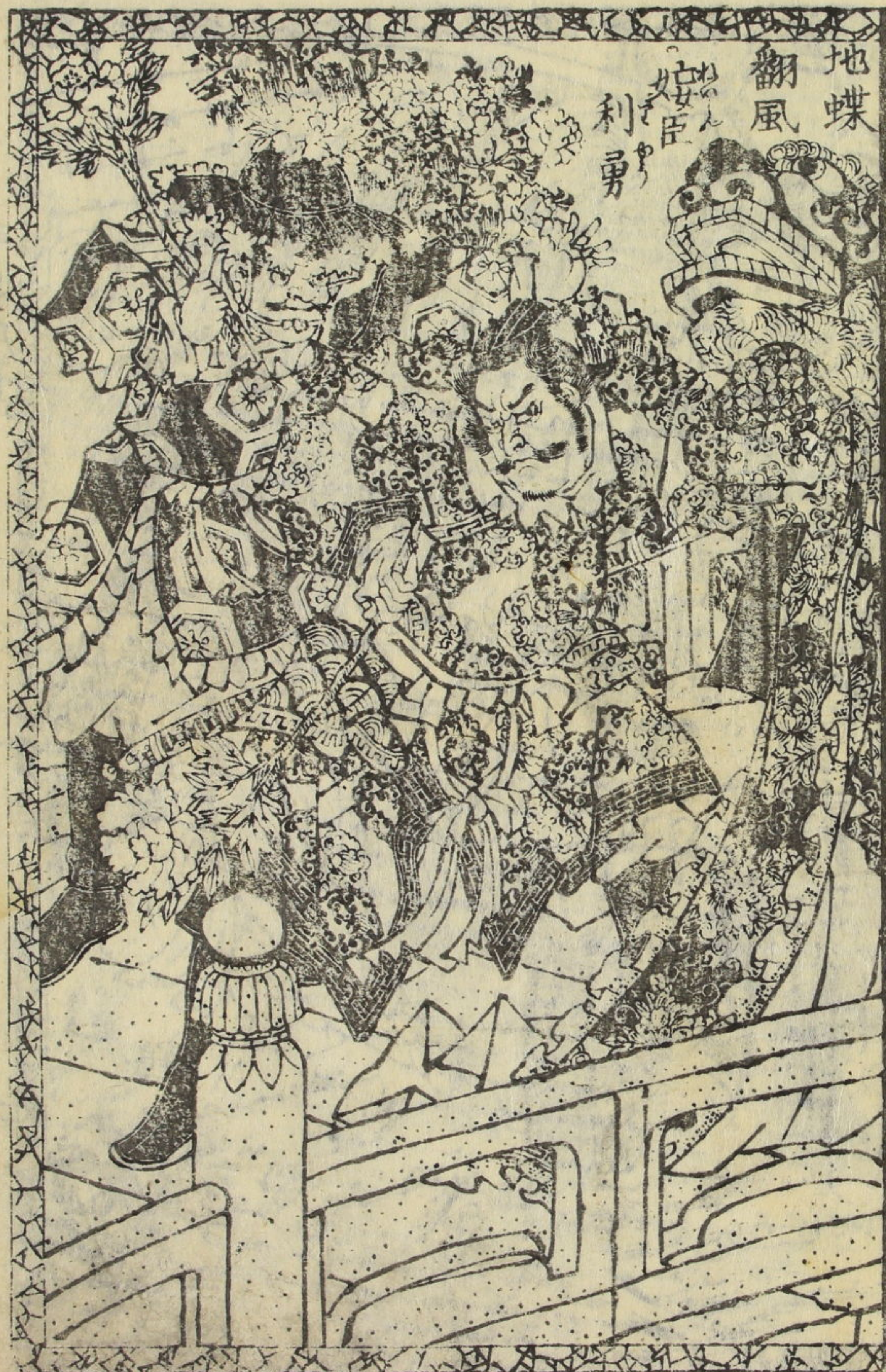
歌人の坐して名所を知り、大人は渡らざりて唐土の形体をも著述する。況真途を
吾邦の風俗ある琉球の世界と曲亭翁が輯録せしも早余年前の新案はて号て
椿説弓張月と題して錦昇堂の需不應と袋入の草紙小異冊既ふ十二編ふ至る十
編半のり彼主の歌小移り芭蕉布のいと永く琉球芋のきれる趣向の如きとを
出島の砂糖の甘口たけり小時風の重客を加陳文漢士とて入るの倭詞其本の如き衣
裳つきの呉魏蜀の三公を花屋舗の桃園小軒飲儀と約び將師へ肩を入る神文と山笠
鴻門の會小半の羽織の鬘入て行手小抱込とも花僧の舞の口論も諱信の尻振踊
の頓戯て笑ひせり小終小和睦の手札の演彼良辨も能能弁の石尊の大滝のりごとく
こころ僧正鼻柱張良が香と俱名高きも尊きも賤きも往古の時世も戲述の業これ
主筆の穂先無根艸とせぬ御代の早春小魁りて葦市と古文例の如し

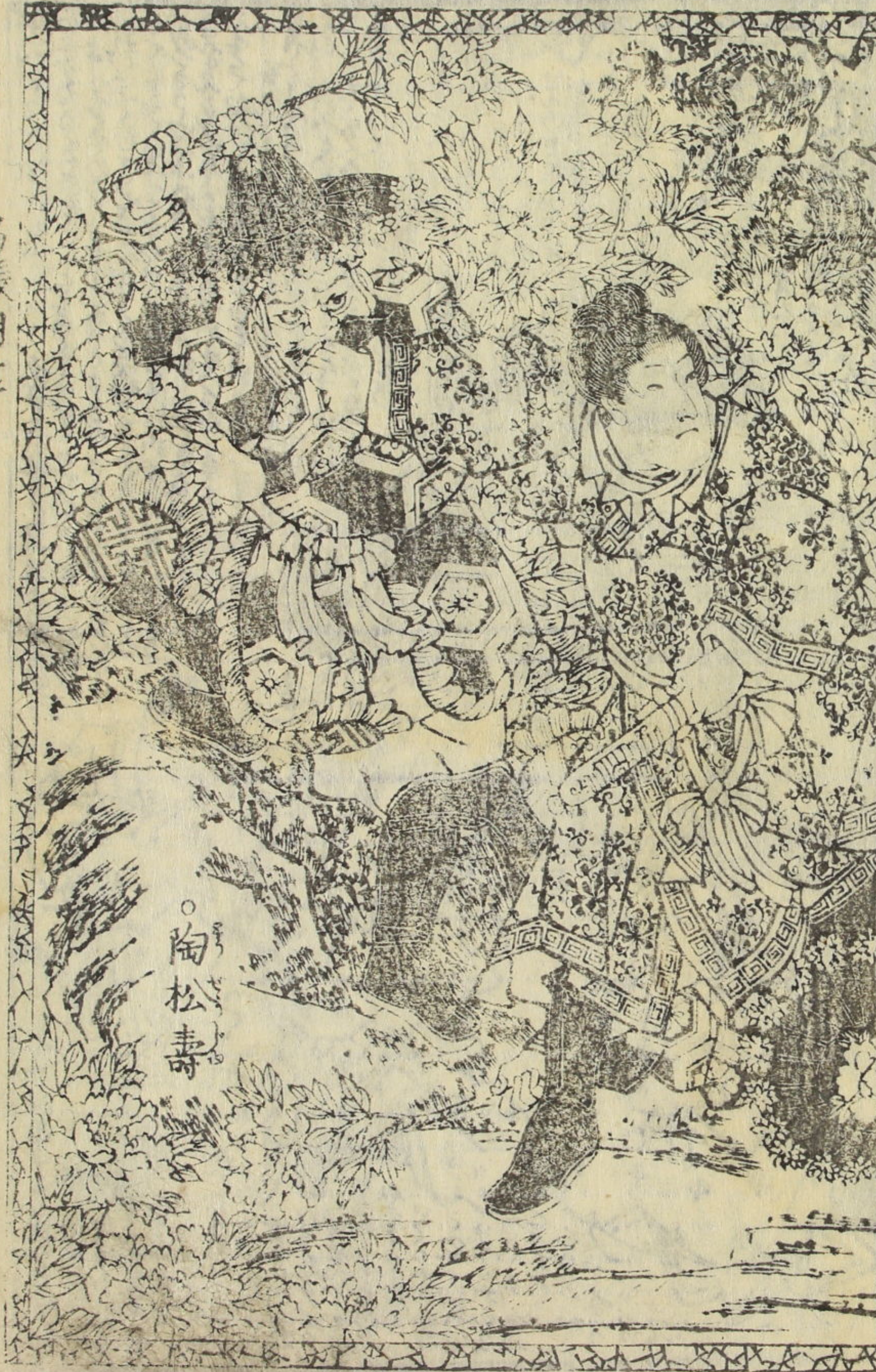


嘉永七甲寅年孟陽新刻

樂亭西馬戲述







陶松壽



鶴真

巳月十日

十一のり...
 ことわ...
 おし...
 これ...
 こ...
 ま...
 ...

蒙雲因師
 ...
 ...
 ...



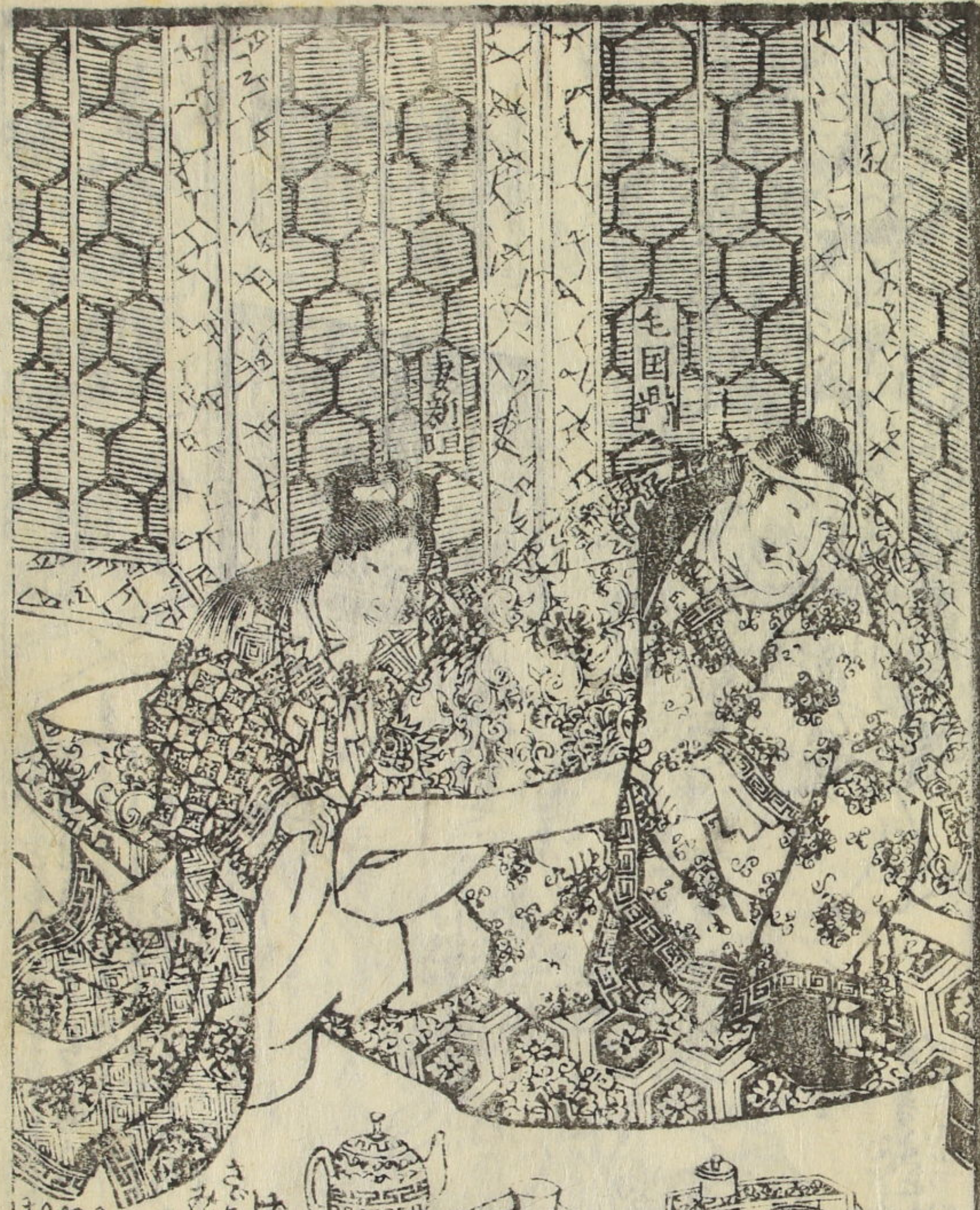
蒙雲因師の...
 ...
 ...



...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

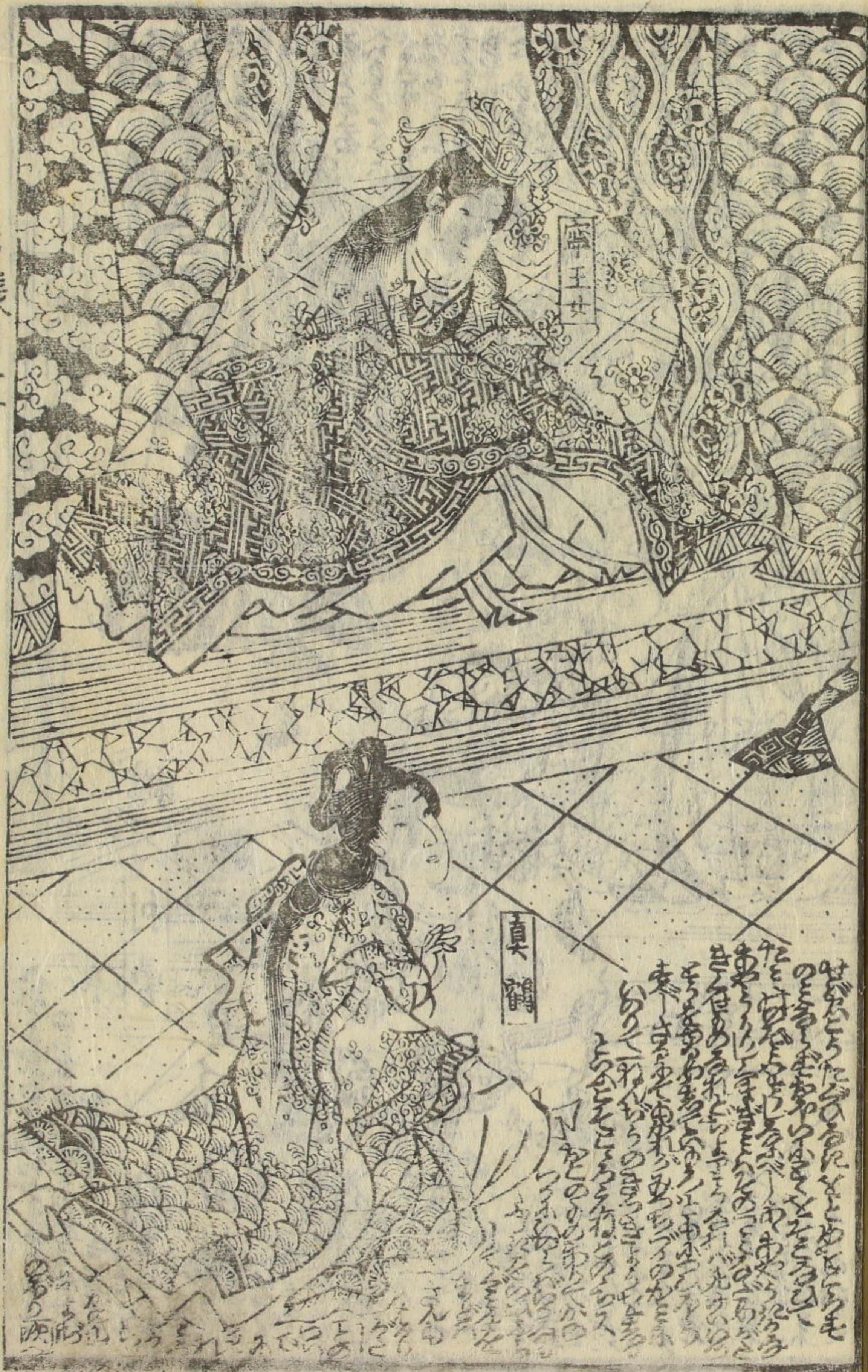


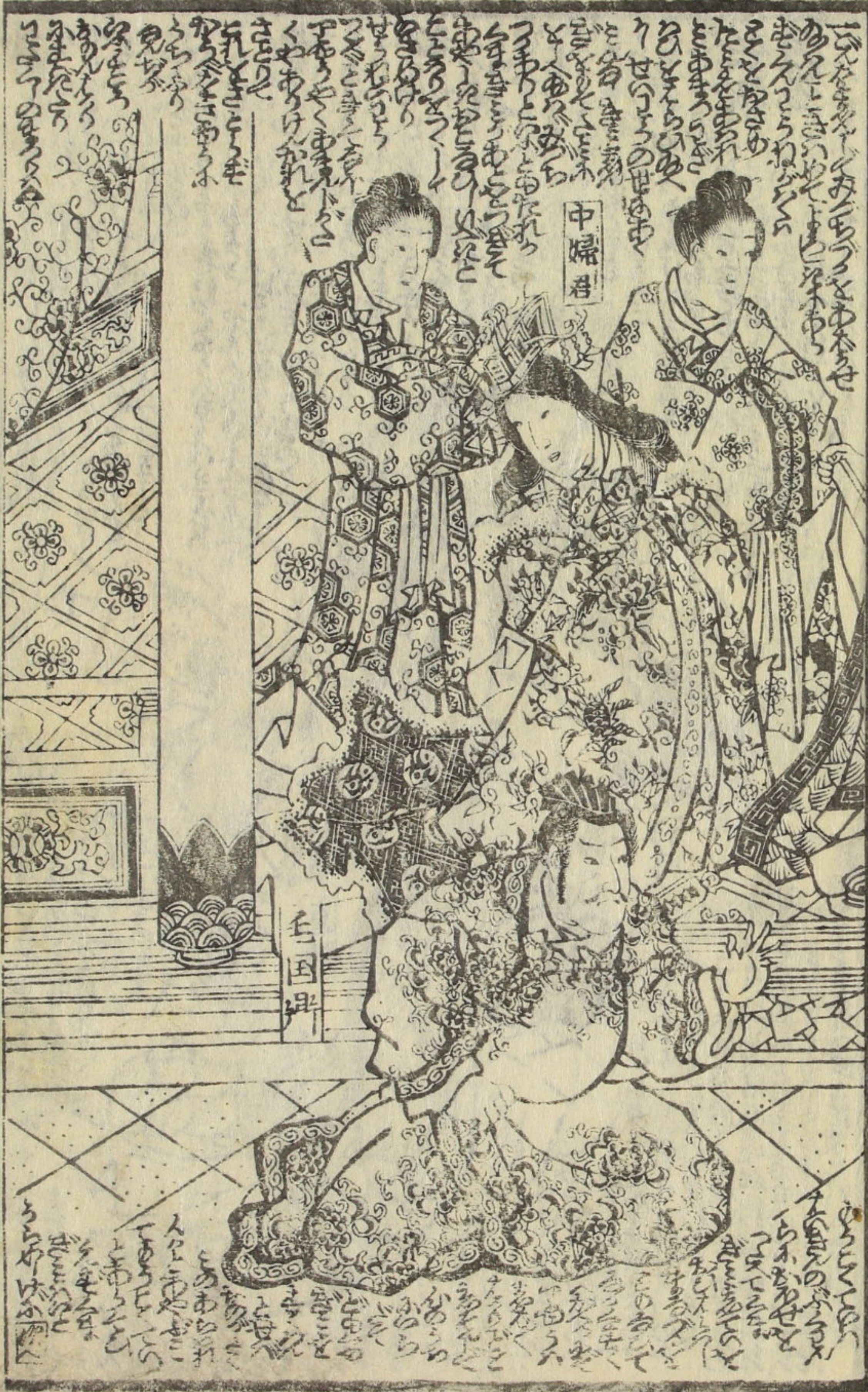


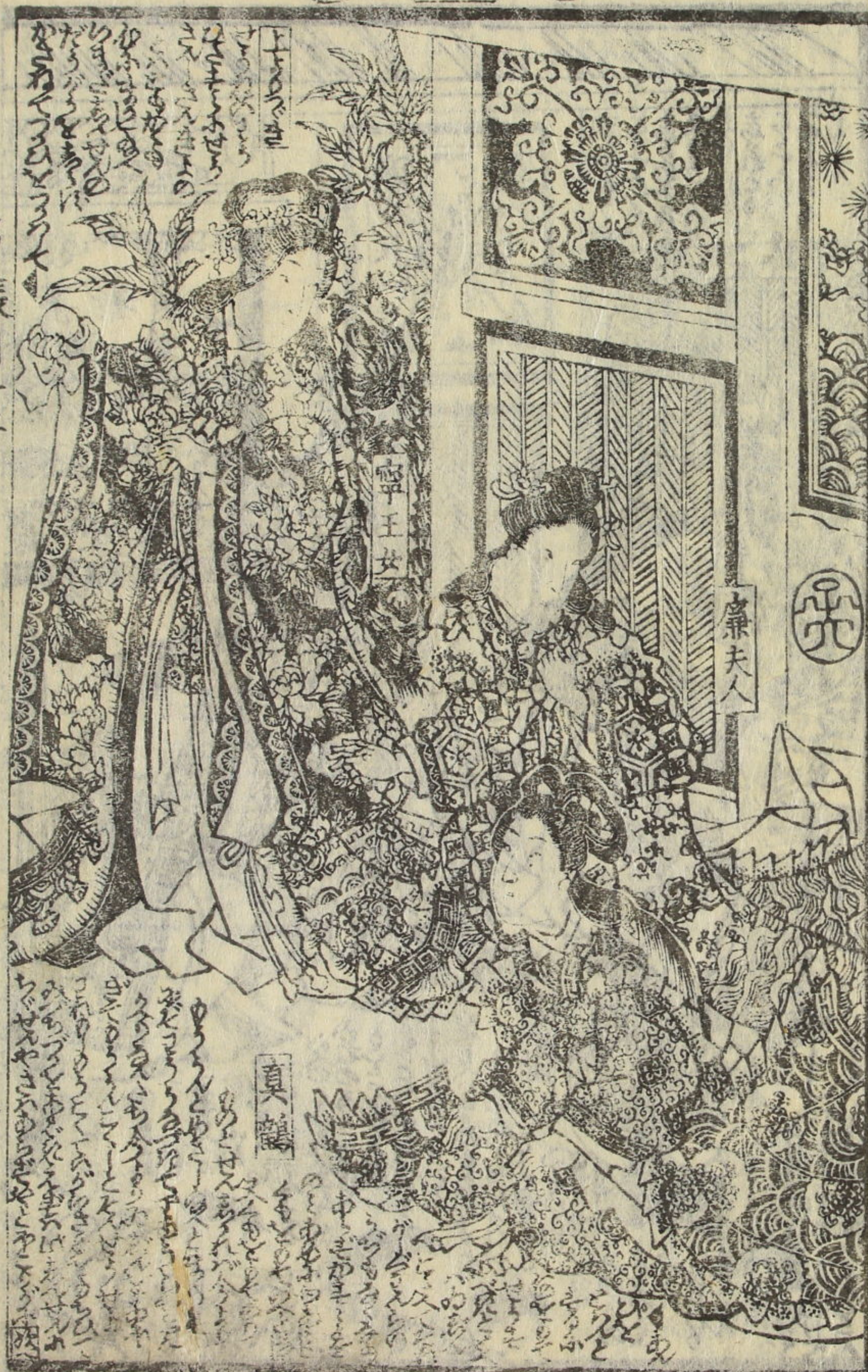
毛田 凱
 此の如くは...
 長門の...
 新編...



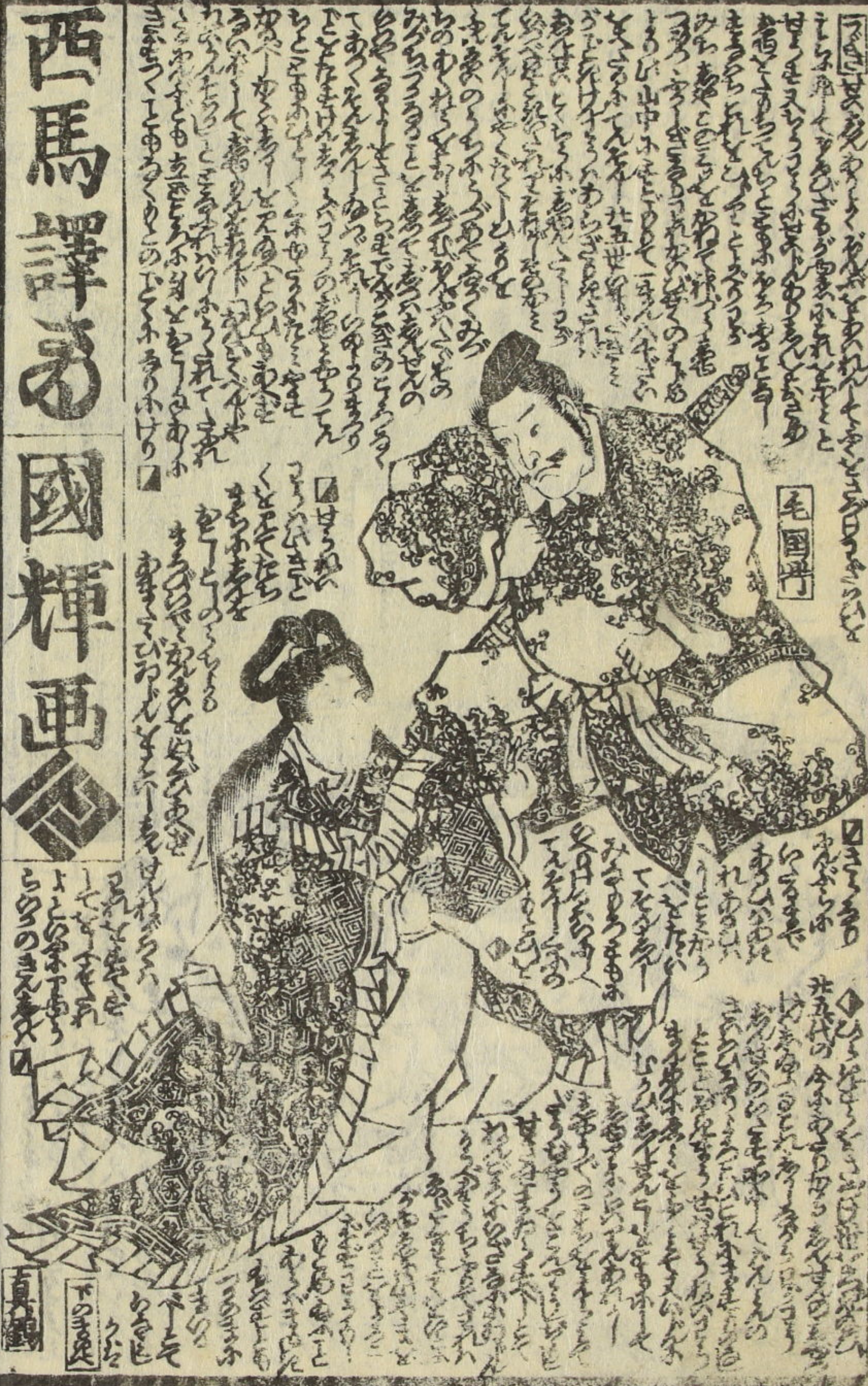
長門の...
 新編...







西馬譯る國輝画

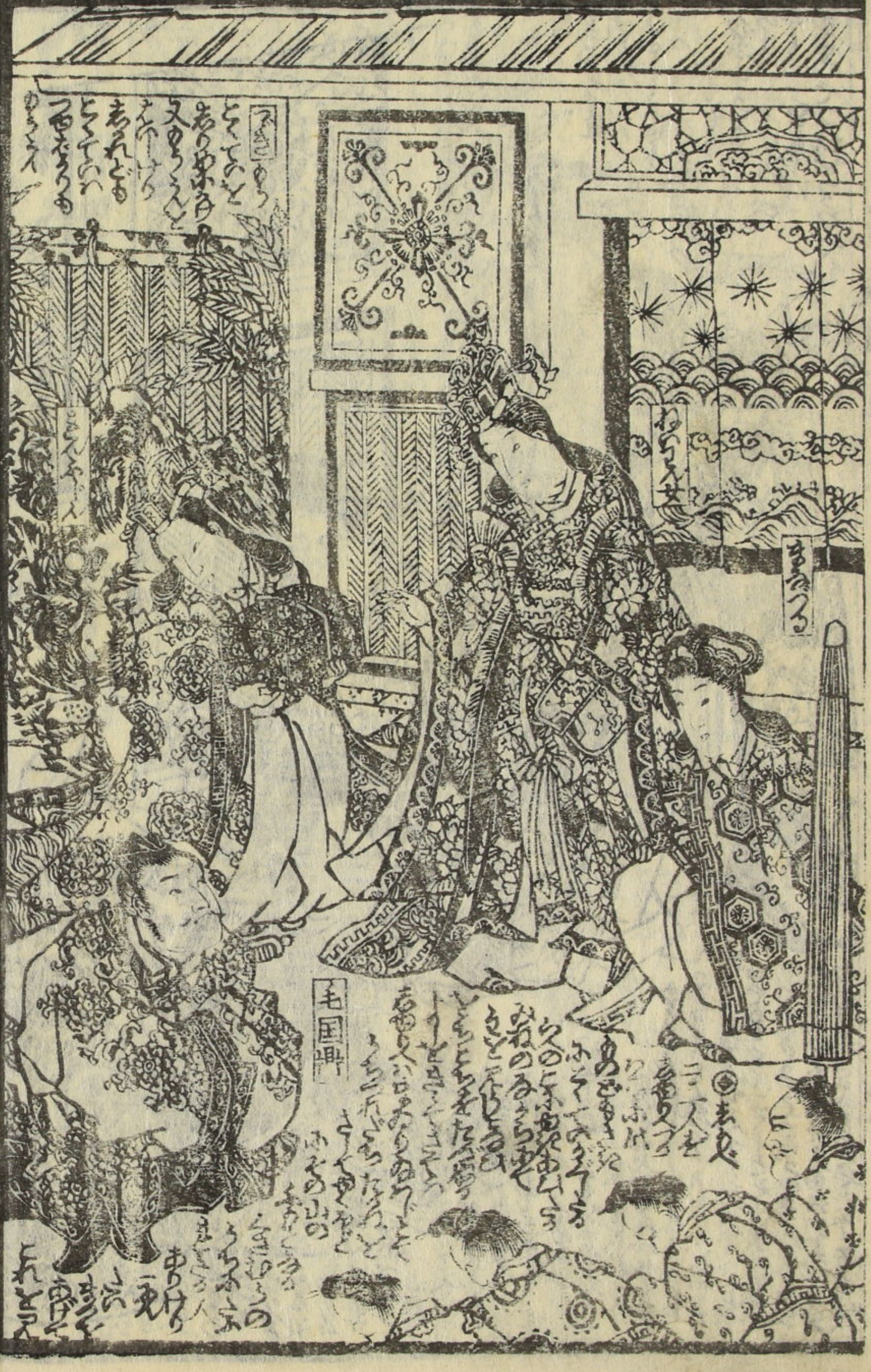


長月十二日

十一

毛国譯

十一



一ノ、
 二ノ、
 三ノ、
 四ノ、
 五ノ、
 六ノ、
 七ノ、
 八ノ、
 九ノ、
 十ノ、

十一ノ、
 十二ノ、
 十三ノ、
 十四ノ、
 十五ノ、



中辨君

尚宮土

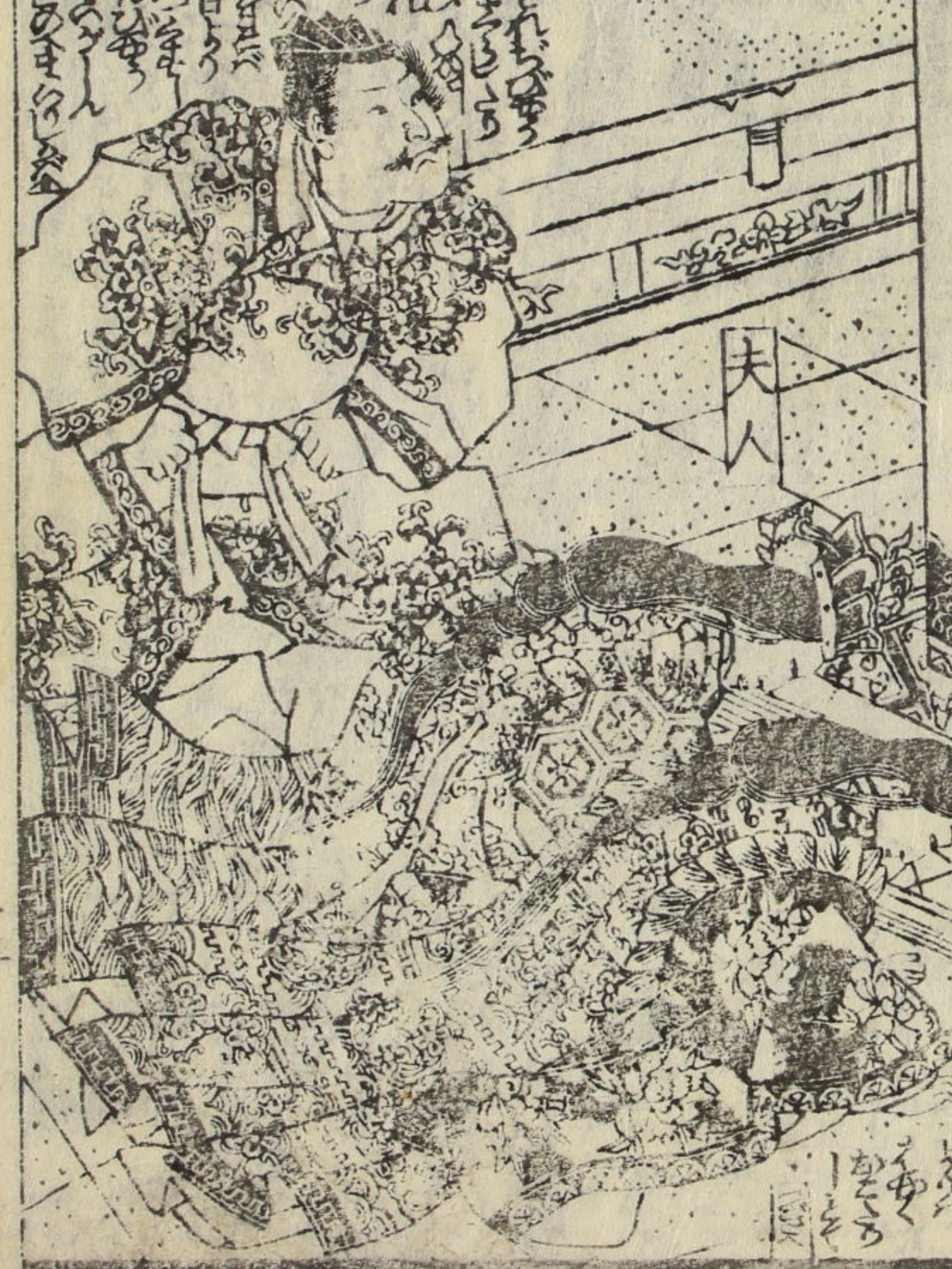
利勇

一ノ、
 二ノ、
 三ノ、
 四ノ、
 五ノ、



出家

一ノ、
 二ノ、
 三ノ、
 四ノ、
 五ノ、
 六ノ、
 七ノ、
 八ノ、
 九ノ、
 十ノ、



夫人

王女

一ノ、
 二ノ、
 三ノ、
 四ノ、
 五ノ、

悪神未治 海潮不清
悪神未治 自破化輪
悪神未治 自破化輪



悪神未治 海潮不清
悪神未治 自破化輪
悪神未治 自破化輪

尚書王

果



中婦君

廉夫人

尚書王

悪神未治 海潮不清
悪神未治 自破化輪
悪神未治 自破化輪

西州月旦十四日... 利勇... 毛国博



Text block at the bottom of the right page, continuing the narrative.

Text block at the top of the left page, preceding the illustration.



Text block at the bottom of the left page, continuing the narrative.

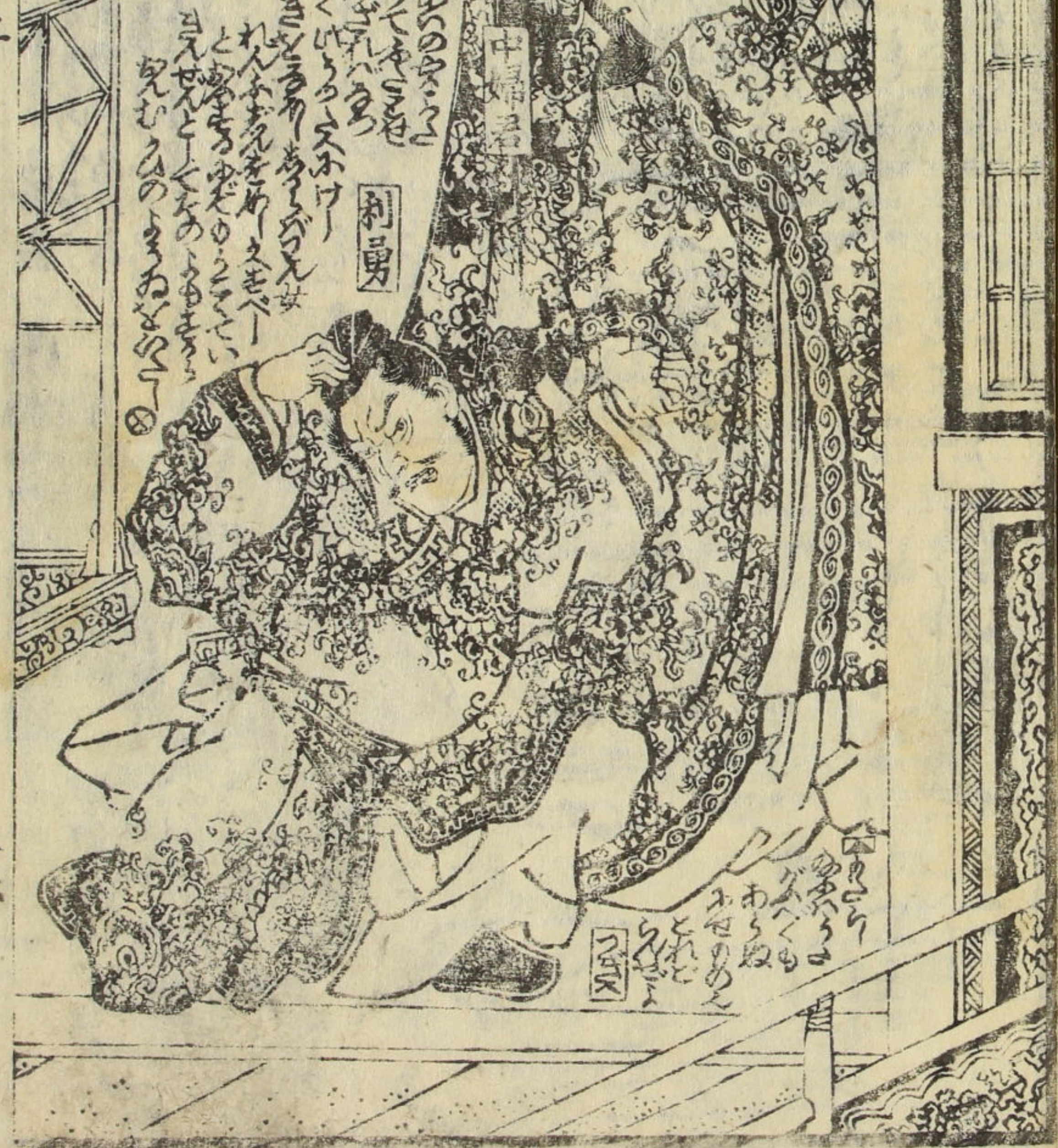


Handwritten text in vertical columns surrounding the illustration, including the title '中御用'.

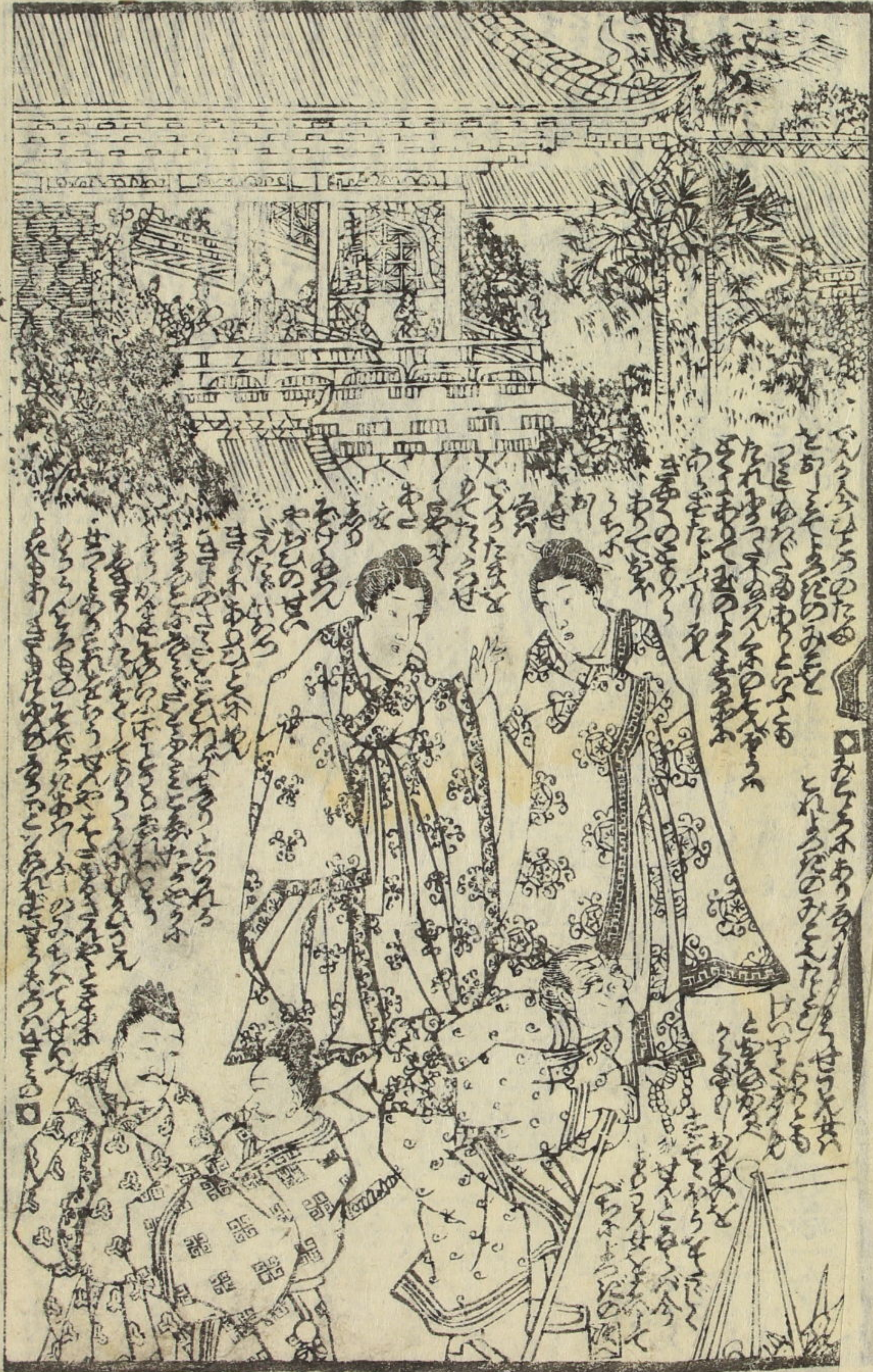
Main column of handwritten text on the right page, continuing the narrative.

Bottom section of handwritten text on the right page, enclosed in a decorative border.

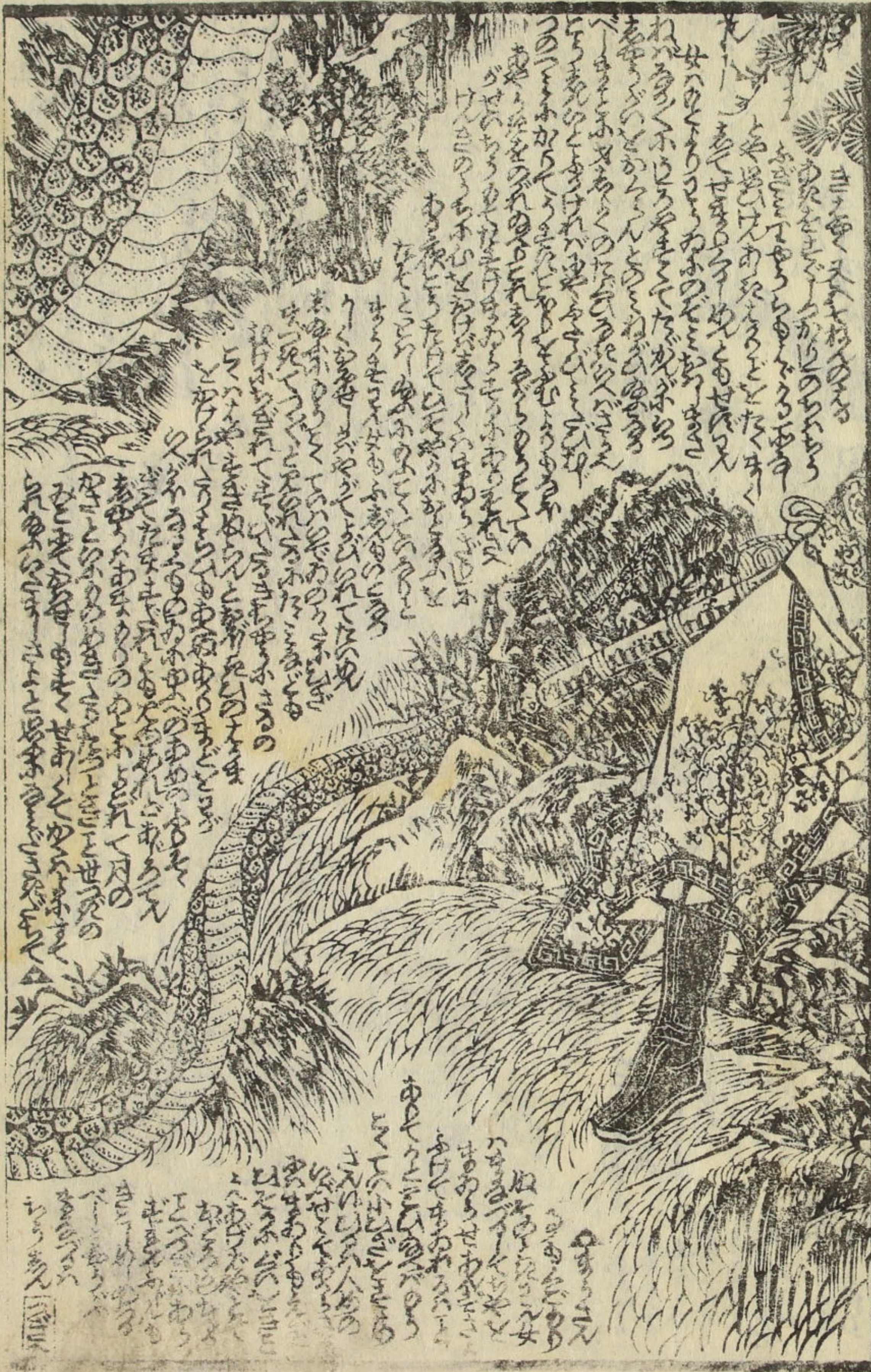
Handwritten text in vertical columns at the top of the left page.



Handwritten text in vertical columns surrounding the large illustration, including the title '利勇'.









藤井

毛田丹

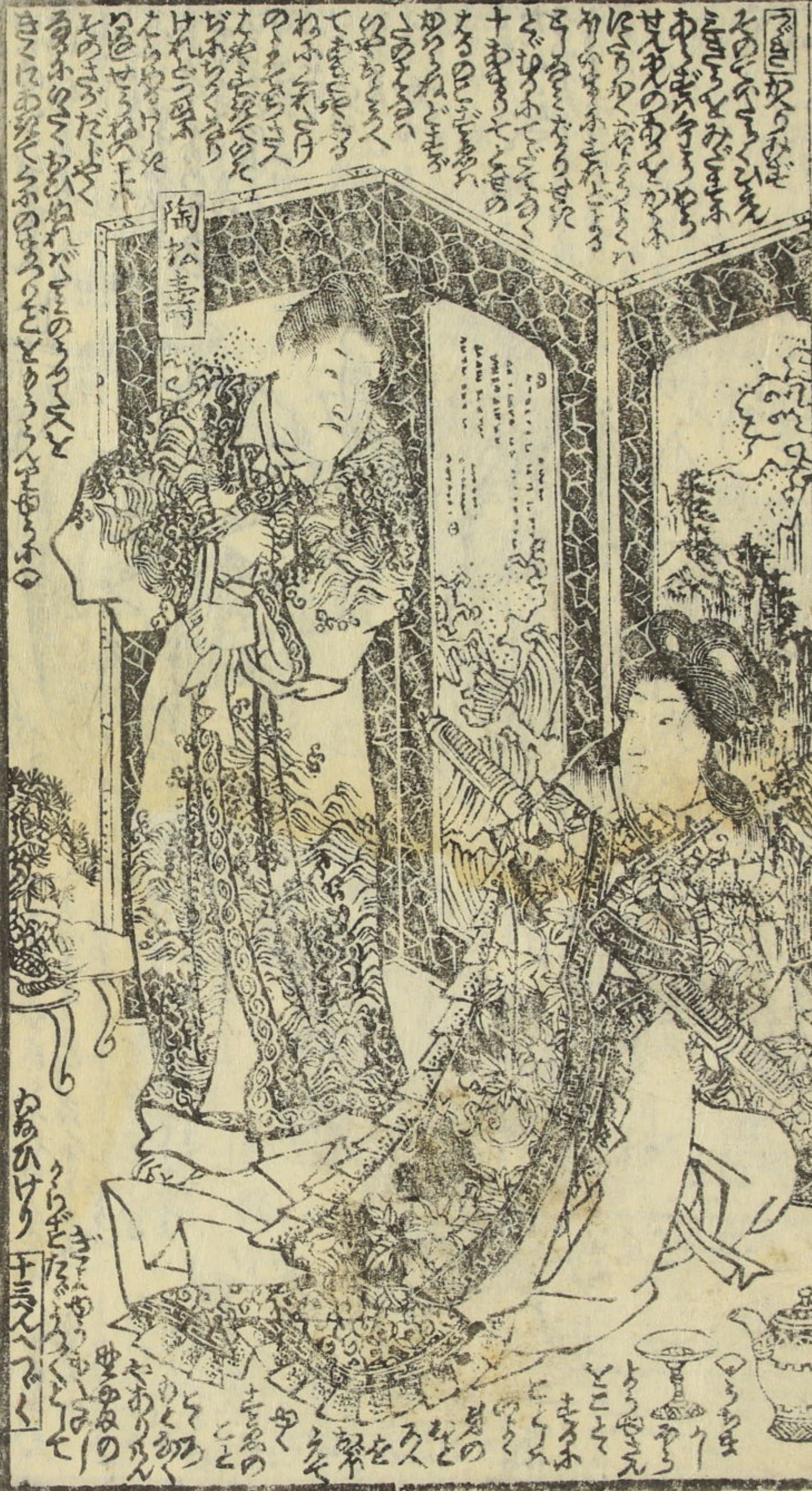
陶松壽



摩王女

真鶴

樂亭西馬譚一雄齋國輝画



陶松壽

真鶴

おのれは
ふたへ
十三八



